

2023年度1年生アンケート調査結果報告

<調査概要>

□ 調査の方法

調査対象 2023年度学部1年生（調査時点で在籍していた学部1年生）

※ただし、編入学・転籍者を除く

調査時期 2023年10月16日(月)～2023年11月10日(金)

調査方法 法政大学アンケートシステム(WEB形式)

回収状況 回収率:18.4% 対象者数:7,040人 有効回答数:1,297件

□ グラフ参照時における共通注意事項

端数処理の関係上、合計と内訳が小数点第一以下で一致しないことがある。

1 大学及び入学学部・学科に対する満足度

図1は、「現時点で、法政大学および入学学部・学科に対してどの程度満足していますか。」(“満足”～“不満”の5件法)の回答結果である。肯定的回答(“満足”+“やや満足”の回答の割合)が図の右側となるように示している。

「法政大学の満足度」は81.7%、「入学学部・学科」では80.0%となった。

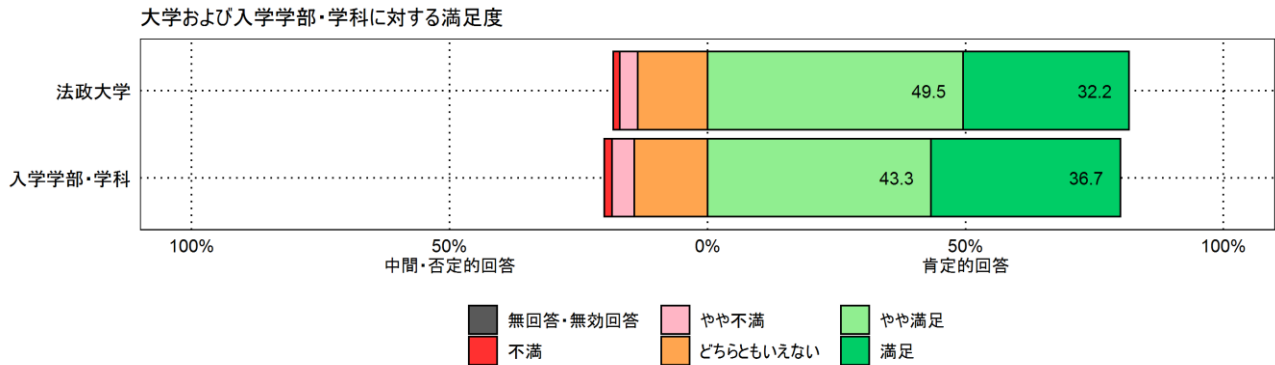


図1 大学及び入学学部・学科に対する満足度

2 大学における成長感

図2は、「これまでの大学での授業や活動を通して、以下の知識や能力、態度がどの程度変化しましたか。」(“かなり向上した”～“ほとんど向上していない”の4件法)と尋ねた質問の回答結果である。肯定的回答(“かなり向上した”+“ある程度向上した”と回答した者の割合)が図の右側となるように示している。なお当調査では、入学後約半年間の大学における経験を通じた成長度合いを意味する。

最も肯定的回答が多いのは「幅広い教養」(79.6%)であり、肯定的回答が6割を超えたものは「専門分野の知識」(76.7%)、「その他の外国語能力」(64.5%)、「課題発見能力」(68.0%)、「コミュニケーション能力」(71.7%)、「チャレンジ精神」(65.0%)までとなる。一方、「英語に関する能力」(39.9%)、「リーダーシップ能力」(34.4%)などは、肯定的回答が5割を下回った。

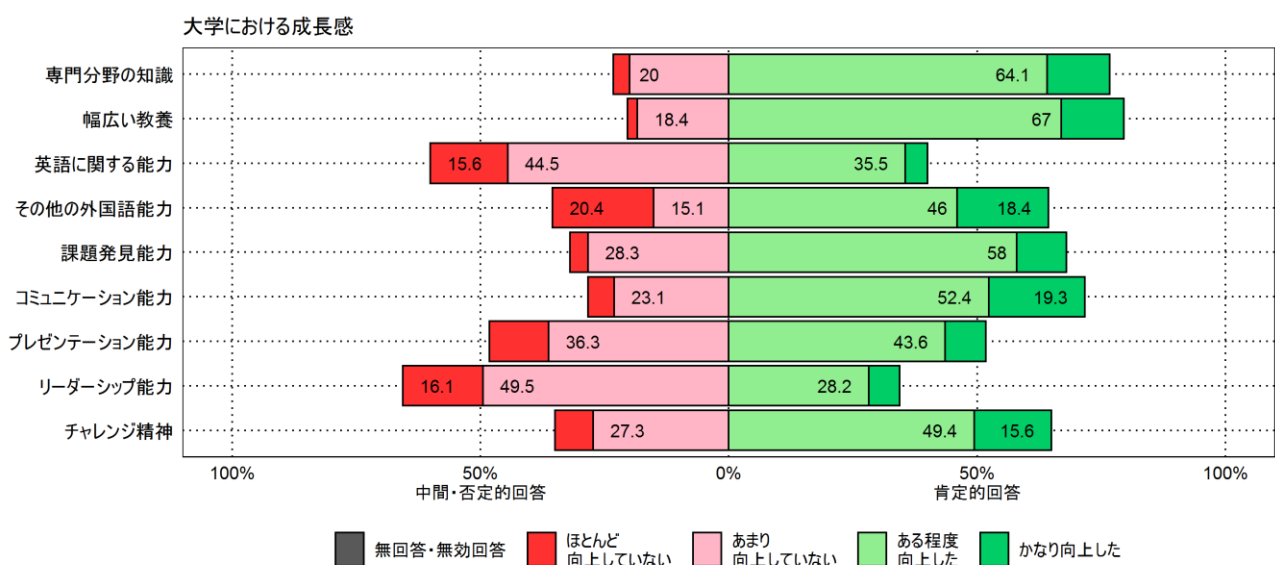


図2 大学における成長感

3 サービス・施設設備満足度

図3は、「大学のサービスや施設、設備に対してどの程度満足していますか。」(“満足”～“不満”の5段階尺度及び“利用したことがない”を含む6つの選択肢から1つを選択)と尋ねた質問の回答結果である。肯定的回答(“満足”+“やや満足”と回答した者の割合)が図の右側となるように示している。

最も肯定的回答が多いのは「図書館のサービス」(66.0%)であり、肯定的回答が6割を超えたものは「キャンパスの設備(建物・教室)」(64.8%)、「キャンパスの設備(学生ホール、サークル施設、広場等)」(64.9%)となる。一方、最も肯定的回答が少なかったのは「国際交流支援サービス」(23.2%)であった。

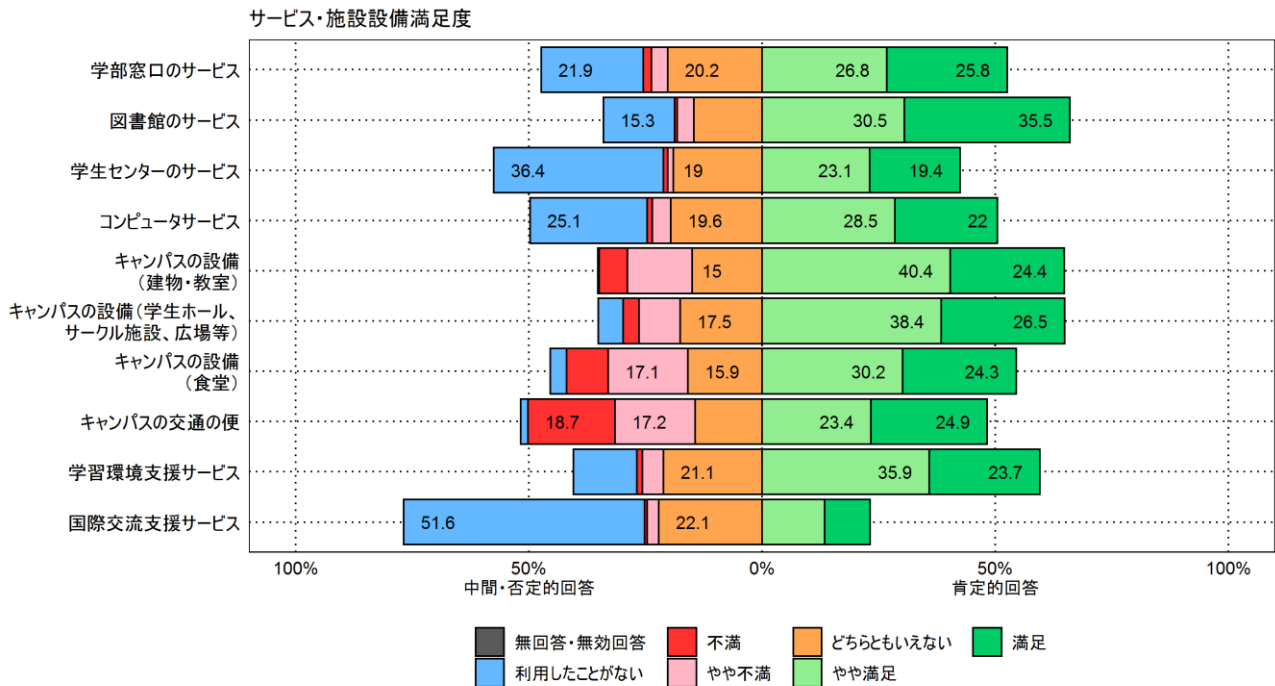


図3 サービス・施設設備満足度

4 法政大学推奨度

図4は、「もし、あなたの身近に四年制大学への進学希望者がいる場合、法政大学を勧めたいと思いますか」(“そう思う”～“そう思わない”の5件法)と尋ねた質問の回答結果である。肯定的回答(“そう思う”+“いづらかそう思う”)と回答した者の割合)が図の右側となるように示している。

肯定的回答は67.9%となった。

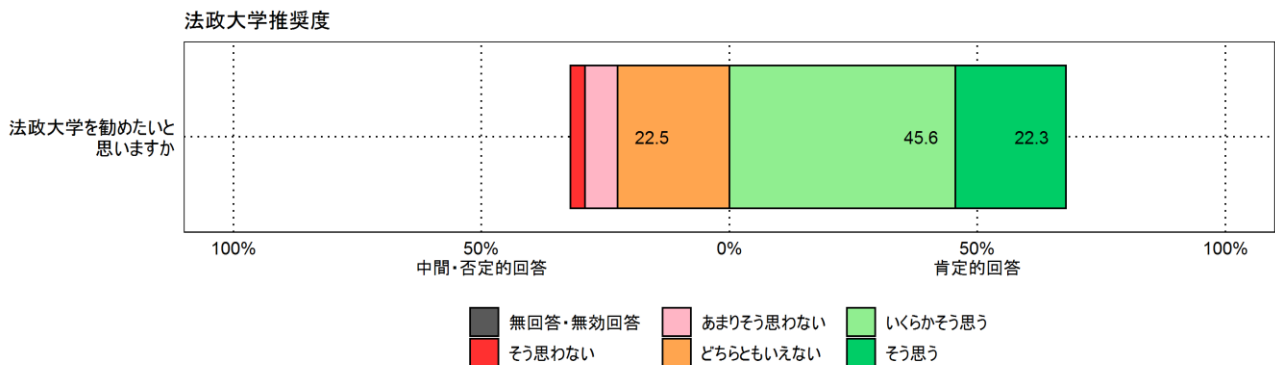


図4 法政大学推奨度